

☆新しく入った本は他にもございます。
図書室では新着図書のリストを配布し
ております。また、鷹栖町図書室の蔵書
検索から探すこともできます。



たかす(一般)

『ウロボロスの環』(小池真理子/集英社)

『変な地図』(雨穴/双葉社)

『彼の左手は蛇』(中村文則/河出書房新社)

『みずいらず』(染井為人/祥伝社)

『BOXBOXBOX』(坂本湾/河出書房新社)

『北の学徒出陣』(島津彰/北海道出版企画センター)

『交通トラブル六法』(藤吉修崇/KADOKAWA)

『アニソン大全』(澄川龍一/祥伝社)

『バイリンガルの壁』(松井智子/岩波書店)

『イオラと地上に散らばる光』(安壇美緒/KADOKAWA)

『アフター・ユー』(一穂ミチ/文藝春秋)

『陽ちゃんからのそよ風』(山崎ナオコ/河出書房新社)

『青とうずしお』(ドリアン助川/新潮社)

『告発裏金』(桐山煌/新潮社)

『島流しの歴史』(大隈三好/雄山閣)

『古代文字を解読していたら、研究に取り憑かれた話』(大城道則/ポプラ社)

たかす(児童)

『むじな』(高畠那生/岩崎書店)

『おりがみのしろちゃん』(かとうまふみ/BL出版)

『アナトルとおもちゃ屋さん』(ポール・ガルドン/好学社)

『西遊記 17 人の巻』(呉承恩/理論社)

『お米はすごい!』(秋元さくら/柴田書店)

『絵で見て楽しい!はじめての書道』(松川昌弘/すばる舎)

『とうじのたのしいよる』(山田花菜/童心社)

『あたらしいかぞく』(あべ弘士/講談社)

『やまおやじ』(きくちちき/西東社)

『おもちのおやど』(植垣歩子/Gakken)

『パンダおかたづけでんしゃ』(いりやまさとし/講談社)

『かいけつゾロリニセゾロリあらわる!!』(原ゆたか/ポプラ社)

『化学の学校』(桜井弘 監修/ニュートンプレス)

『色のひみつ図鑑』(橋本実千代 監修/小学館)

きたの(一般)

『世界はきみが思うより』

(寺地はるな/PHP研究所)

『見えない死神』(東えりか/集英社)

『70歳からのスマホでAI』(増田由紀/祥伝社)

『上沼恵美子の人生笑談白黒つけましょ』(上沼恵美子/文藝春秋)

『傷つけ合う子どもたち』(石井光太/CEメディアハウス)

『マンガでわかる0歳からの歯並び育児』(鈴木設矢/弘文堂)

『タクジョ! 3 あしたのみち』(小野寺史宜/実業之日本社)

『超シルバー川柳 いつでも笑みを編』(みやぎシルバーネット編/河出書房新社)

『なぜ鬼は虎皮のパンツをはくのか』(石井公成/法蔵館)

『昭和界限』(朝日新聞フォトアーカイブ協力/朝日新聞出版)

『ふれる』(アトリエFil/エクスナレッヅ)

『おうちで育てるキノコBOOK』(深町貴子/NHK出版)

『粋』(藤井康生/集英社)

きたの(児童)

『もぐらけんせつ あなぐましまいのドーナツトンネル』

(長崎真悟/童心社)

『エイモスさんはゆきがふると』(エリン・E.ステッド/光村教育図書)

『中高生のための詩のつくりかた』(久谷雅 監修/メイツユニバーサルコンテンツ)

『わすれぼんたくん』(柴田ケイコ/PHP研究所)

『わたし、フードパントリーにいくの!』(ブリジダ・マングロ/文研出版)

『グレッグのダメ日記 めちゃくちゃパーティー』(ジェフ・キニー/ポプラ社)

『みんなでつくる「読書バリアフリー」』(成松一郎/河出書房新社)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～

図書室だより



1月18日(日)に中央地区住民センターにて開催された防災イベント「4ぶんだんとあそぼう」に、鷹栖町図書室が出張いたしました!当日は、防災に関する本を中心に持参し、災害への備えや日頃の防災意識を高めていただけるような資料を展示しました。
会場では、子どもから大人まで本を手に取り、楽しそうに読む姿が見られました。



1月の本棚リレーは
上坂照代さんでした。



1月の「音楽のある図書室」は
fam3100さんによる
ベース演奏でした。